

あさんづ橋

<http://digitalarchiveproject.jp/information/あさんづ橋/>



萩原町指定史跡 あさんづの橋所 石碑 下呂市萩原町尾崎宇舟渡

奈良時代の頃より、飛騨の国府(飛騨の国を中心地)から都へ上る本街道は「位山官道」と呼ばれ位山峠を越えて山之口から尾崎まで来て、ここから益田川を越して対岸の宿場「上留(かみのとまり)」(今の上呂)へ渡り、萩原を通って美濃の国東山道へと通じていた。

ここに「あさんづの橋」が架けられたのはいつ頃であったのかはつきりしないが、今から400年ほど前の天正年間(1573~1592)、飛騨の国の領主となった金森長近によって、現在の小坂町・久々野町を通る新しい道が開かれたため、険しい位山峠は通らなくてもよくなり、やがてこの橋も廃止になった。そして新しく小坂川に架けられた橋に、廃止となった「あさんづの橋」の名にちなんで「あさむつの橋」の名がつけられたと伝えられている。

この石碑は、享保13年(1728)第7代飛騨の国代官となった「長谷川忠崇(ただむね)」が、すでに150年以上も前に橋があったことを知り、当時は渡し場となっていたこの地にあさんづの橋の名を偲(しの)び、「むかしあさんづの橋があった所」と記した碑を建てた。そして小坂の橋には今の「あさむつの橋」の石碑を建て、飛騨の名所としてこの橋の名を残すこととした。

昭和48年5月30日指定

*説明版より

石碑銘

(表)終古 阿さん川の橋所

(裏)欽差郡吏 長谷川庄五郎藤原忠崇立

享保万年之第十三禪歳在戊申九月六日

私達のふるさとの歴史を語る大切な文化財をいつまでも残すために、皆様の御協力によって、石碑の周囲を整備することができた。 昭和54年3月 萩原町教育委員会説明版



0001_あさんず橋



0002_あさんず橋



0003_あさんず橋



0004_あさんず橋



0005_あさんず橋



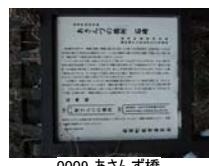
0006_あさんず橋



0007_あさんず橋



0008_あさんず橋



0009_あさんず橋



0010_あさんず橋



0011_あさんず橋



0012_あさんず橋



0013_あさんず橋



0014_あさんず橋



0015_あさんず橋



0016_あさんず橋



0017_あさんず橋



0018_あさんず橋



0019_あさんず橋



0020_あさんず橋



0021_あさんず橋



0022_あさんず橋



0023_あさんず橋



0024_あさんず橋



0025_あさんず橋



0026_あさんず橋



0027_あさんず橋



0028_あさんず橋



0029_あさんず橋



0030_あさんず橋



0031_あさんず橋



0032_あさんず橋



0033_あさんず橋



0034_あさんず橋



0035_あさんず橋



0036_あさんず橋



0037_あさんず橋



0038_あさんず橋



0039_あさんず橋



0040_あさんず橋



0041_あさんず橋



0042_あさんず橋



0043_あさんず橋



0044_あさんず橋



0045_あさんず橋



0046_あさんず橋



0047_あさんず橋



0048_あさんず橋



0049_あさんず橋



0050_あさんず橋

